

「いしかわ防災フェア2026」において災害時における当局の支援策をPR

総務省北陸総合通信局（局長：安東 高德）は、令和8年9月27日（日）、金沢市内で開催された「いしかわ防災フェア2026」（主催：石川県）に参加して移動通信機器等の展示・周知啓発を行いました。

石川県は、これまで防災総合訓練と防災知識の普及啓発を目的とする展示を同一会場で実施していましたが、今年度の展示関係については「いしかわ防災フェア2026」として金沢、加賀、能登の3会場で防災総合訓練と分けて開催しました。

金沢会場となった石川県産業展示館屋外展示場に設けられた当局のブースでは、被災した自治体や事業者に対して無償で貸与可能な臨時災害放送局設備、公共安全モバイルや簡易無線、衛星携帯電話等の移動通信機器、衛星インターネット機器(Starlink)を展示し、来場された方々に当局の災害時における支援について周知啓発を行いました。

陸上自衛隊の装甲車両、消防のはしご車やポンプ車、地震体験ができる起震車の展示もあり、会場は子ども連れの家族が多数訪れ、Starlinkや簡易無線機を実際に触っていただきたくさんの方々に当局の取組を周知することができました。北陸総合通信局は、自治体をはじめとする関係機関との連携強化を図り、引き続き地域の安全・安心に貢献していきます。



多数の家族連れが訪れ、災害時に貸与可能な移動通信機器、Starlinkを展示・実演した当局ブースの様相



山野石川県知事に安東局長が説明